

ヒアリ（火蟻）に注意

ヒアリは、これまで日本では見つかっていませんでしたが、2017年6月以降、12都道府県で見つかっています。ヒアリの多くは、外国から運ばれてきたコンテナの中や、コンテナを水揚げするコンテナヤードで見つかっています。



特徴

- ・ 体長は2.5mm~6.0mmほどの小さな赤茶色のアリです。
- ・ 南米原産ですが、北米、中国、オーストラリアなどで定着しています。
- ・ 土で大きなアリ塚を作り、集団で生活します。
- ・ 攻撃性が強く、棒などで塚をつつくと、集団でワッと出てきて襲いかかります。

アリ塚

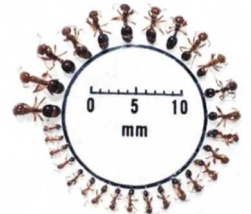


見分け方

小さいため見分けるのは難しいですが、肉眼でわかる特徴もあります。

- ・ 赤っぽくツヤツヤしている。腹部（おしり）の色は暗め。
 - ・ 働きアリの大きさは2.5mm-6.0mm。色々な大きさのアリが混じっている。
- 違う種類：黒いアリ、2.5mm以下の小さなアリ、6.0mm以上の大きなアリ

いろいろな大きさがいる



S.D. Porter, USDA-ARS

お願い

ヒアリに似たアリの集団がいて、駆除をお考えの場合は、最寄りの環境省の地方環境事務所や、都道府県の環境部局にご相談ください。

日本には在来のアリ（270種以上）がいて、ヒアリの侵入を防いでくれます。むやみに周りのアリの駆除してしまうことは、かえってヒアリが拡散してしまうことにつながりかねません。

もしも、アリに刺されたら

- ・ ヒアリであれば、刺された時に熱い！と感じるような激しい痛みがあります。かゆみ、腫、はれ、じんましんや、アレルギー症状が重篤な場合はアナフィラキシー症状（呼吸困難、血圧低下、意識障害）を引き起こす可能性もあります。
- ・ 異変を感じた場合は、直ちに医療機関を受診してください。